

京の庭園での朝食は、あえてハズしの洋食を

1 朝食ラウンジから眺められる「神苑」。早朝なら京都屈指の名庭園も独占状態に。

2 京都は和食に触れる機会が多いからこそ洋風で。名シャルキュトリーリンデンバームのソーセージ、スフレオムレツなどが美味。3 宿泊棟の客室は、和の佇まいを残しながらモダンな空間に。「Room 103」4万2950円~(大人1名・1泊朝食付き、税・サ込み)

Data HOTEL VMG RESORT KYOTO

0120-210-289 住所/京都市東山区下河原町463-23

泊まりデートの命運を分けるのは、実は朝食ではないかと。ディナーは旅先の名店を予約したり、ホテルのメインダイニングで贅を尽くしたりと、力を入れるのは当然でしょうが、1泊2日はシメは朝食。となれば、朝食の印象は旅の印象、ということにもなりかねません。なのに「ラグジュアリーホテルの朝食なら、ま、それなりだろう」と、ノープランではないでしょうか。

ということで、今回は心に余韻が残ること確実な朝食をプロデュースしてくれるホテルをご紹介。それが昨年8月に京都にオープンした「HOTEL VMG RESORT KYOTO」です。こちらは、街の歴史的価値のある施設をホテルの一部として活用する「分散型ホテル」を開拓する「VMG HOTELS & UNIQUE VENUES」グループのフラッグシップ。滞在することで、街の文化を体感できる新しい宿泊スタイルで

注目されています。場所は京都の東山。著名な神社仏閣が集まり、祇園や鴨川も近い、京都らしさを満喫できるエリアにあります。宿泊棟は、古くからの街並が残る「ねねの道」沿いにあり、1日3組限定。そして待望の朝食をいただけるのが平安神宮内の宿泊者限定ラウンジです。平安神宮は京都三大祭のひとつ「時代祭」の舞台であり、その敷地内には、近代を代表する造園家、小川治兵衛が手がけた日本庭園「神苑」があります。その風光明媚な庭を眺めながら、ゆっくりと食事をすることができるのです。朝食後は平安神宮の参拝や「神苑」の散策も。朝の静謐な神宮の庭園は、千年の都・京都を肌で感じられるパワースポット。そこで朝食は、こんな時代を生きる我々の日常を非日常へと昇華させてくれること間違いありません。夜遊びが難しい昨今、早起き＆朝食は、三文以上の徳がありますよ。



Theme

07
そうだ、京都の名庭園で朝食を食べよう!
モテるホテルは「よく遊びよく学べ」
文/秋山圭子